

# 静養館だより

発行・編集

社会福祉法人 鎌倉静養館

〒248-0014

鎌倉市由比ガ浜4-4-30

TEL 0467-22-8021

FAX 0467-22-8053

《知る力と見抜く力とを身に着けて、愛がますます豊かになり》

## ルーツの意味を問う

理事長 西崎猛之

鎌倉静養館は、社会福祉法人として、子どもたちがお一人おひとり祝福され開かれる、未来に力強く進めるよう保育園事業から、人生の活舞台から退かれたお一人おひとりを静養の家として支える高齢者福祉施設事業を行っています。

そのルーツは、別荘地として海を望む風光明媚な極楽寺姥ヶ谷（現稲村ガ崎・軽費老人ホーム所在地）が発祥の地であり、100年前の大正10年に認可された財団法人・基督教教役者鎌倉静養館—The Kamakura Rest Home For Christian Workers—という短期間滞在の保養施設でした。明治後期に鎌倉教会とハリス幼稚園が、大正初期に鎌倉雪ノ下教会が設立されており、広く内外のキリスト教関係者によって、大正4年より設立の準備が進められていました。当時の鎌倉は、山林と歴史のある神社仏閣に囲まれて、プロテスタント教会、カトリック教会があるというおおらかな時代でした。明治に、横須賀線が開通し、江ノ電が海沿いに走って、交通の利便性が向上すると、大正時代には別荘地化が進み、療養のための海水浴場が整備されて、海岸沿いに保養施設・療養病院、そして洋風の別荘が立ち並び、また古くからの漁師の街並みがあり、人口約3万人ののどかな時代でした。この時代といえばスペイン風邪のパンデミックが猛威を振るい、日本では第1波として大正7年5月頃から始まり、第2波第3波と繰り返し、大正10年5月頃に終息したという時代です。

さて今は、新型コロナウイルス感染のパンデミックの最中で、その終息が見通せず、社会・経済が大混乱しており、感染防止のため、人と人のつながりがままならずの時代です。上記のルーツから繋がる鎌倉静養館は、人口約15万人鎌倉市にあって、福祉を担う社会福祉法人として、保育園も高齢者福祉施設もその運営は、保育士・介護福祉士・社会福祉士・看護師・介護支援専門員・栄養士・事務職員等あらゆる職種の職員によって成り立っており、今はコロナ禍にあって、感謝をもってエッセンシャルワーカーとして評価されており、いつの時代でも、誇りと使命感をもって、福祉の最前線を担ってきました。鎌倉静養館は、ルーツの保養施設の For Christian Workers という意味を受け継いで、For Kamakuraseiyokan Workers の処遇をもう一歩進めていきたいと思ひます。

鎌倉静養館は、職員が心身ともに健康で安心して職務を全うすることができるように、職員一人ひとりの人生の質を向上させることを目指しています。そして、中高年期にある職員が、キャリアを活かして、長く活躍し、意欲的にその能力を発揮できるよう環境を整備し、働きがいのある持続可能な福祉事業を目指します。その一環として、「職員の定年年齢を65歳とし、処遇制度も変わらない〔65歳定年制度〕を9月1日より実施する」ことを2021年6月25日開催の理事会で決定しました。鎌倉静養館のミッションの実践（隣人を愛する）を使命とし、お一人おひとりを大切に、意思と人格を尊重し、その方の立場に立って、保育・介護・支援を行って参りたいと思ひます。

《知る力と見抜く力とを身に着けて、愛がますます豊かになり》とは、新約聖書のフィリピの信徒への手紙1章9節のことばです。10節に続きます。『わたしは、こう祈ります。知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように。・・・』です。これからの With コロナ・After コロナの社会にあって、鎌倉静養館に、この聖書のことばのように力を与えてくださるよう、祈りたいと思ひます。

このたび任期満了の理事長職をこの6月より今後2年間も引き続き担うことになりました。主のご加護のもとに全身全霊をもって全うしたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



鎌倉おなり保育園 | 階入り口



鎌倉の海と森ゆたかな自然と、歴史や文化のゆかり地で、子どもから高齢者まで暮らす環境の中で、保護者や地域の人々との交流・連携し、共に育つ保育をめざします。

## 鎌倉おなり保育園は開所3周年を迎えました 皆様のご支援に感謝申し上げます

この3年間を振り返りますと、本園では、子どもたちに課題を与えるばかりの保育では学べない、街に出て鎌倉が持つ「素敵な魅力」を享受して、海に山に、時には歴史や文化のゆかりの地・お寺や神社の境内などを毎日の活動の場としてさまざまな「体験に基づく五感」で学びながら、子どもたちは、心と体、そして一人ひとりがいづく「夢」を育み成長していく姿をとともうれしく見守ってまいりました。しかし、昨年来からの新型コロナの感染大流行は子どもたちに対して多大なる「我慢」が強いられ、新しい生活様式など環境の変化も激しく、子どもたちは小さな心を痛めております。本園は子どもたちに最も身近で信頼できる大人（保育者）として、丁寧に関わることができ大切な場所として役割を担い続けてまいりました。このような状況においても子どもたちは、元気いっぱい健やかに成長しています。卒園児は、18年度・5名、19年度・6名、20年度・12名（23名）と市内外の公立や私立小学校へと巣立ってまいりましたこと、また、毎年、進級する子どもたちの姿に職員一同、感涙にむせぶ思いでおります。

園長 小針 宏



夏のプール



「敬老の日」訪問

秋のミニ運動会

於：御成小学校体育館



卒園記念植樹

於：特養鎌倉静養館中庭



# 鎌倉おなり保育園の歩み



小規模保育室開設  
2017年10月1日



鎌倉おなり保育園(認可)  
2018年4月1日

日本の社会問題として、取り沙汰されていた「待機児童問題」(保育所の入所定員枠がなく、特に母親が復職や就労できない状況に陥っています。)が、鎌倉地区においても喫緊の課題であることを知り、待機児童問題を解消するために、当法人が手をさしのべることは何か!と、決起して、アクションを起こし、鎌倉市とお打ち合わせをさせていただき、ご協力により、当初よりディサービスとしてお借りしてまいりました鎌倉駅近くの御成町在宅福祉サービスセンタービル2階を改修し、小規模保育室(19名)を開設しました。そして、地域の方々のご協力を得て同センタービル3階も改修し、2階3階の50名定員の駅近の認可保育園として新たに出発しました。

お一人おひとりを大切に寄り添うという「法人理念」のもとに、お一人おひとりの子どもが、心身ともに健やかに成長され、また自己肯定感を持ち、変化の激しい時代を生き抜く「生きる力」(知力・体力・創造力)が身につくことができるように保育していく想いと、地域にあって、働く女性の子育て支援をして、高齢者と子どもたちの共生社会との思いで、地域に根ざし多様な取り組みを実践してまいりました。

## 保育士総勢13名で園児(0歳児~5歳児)と共に

開所してからの3年間は試行錯誤の連続で、日々学び、考えることが多く、あっという間に感じています。これからも、子どもたちと共に成長し、心豊かに過ごしていけたらと思います。

主任保育士:たんぼぼ(4歳児)担当

子どもと共に笑って喜んで時に涙も。あっという間の三年。これからも子どもたちと向き合い、寄り添いながら、おなり保育園の温かい保育をめざし、歩んでいきたいと思えます。

副主任保育士:みかん(1歳児)担当

子ども達の心と身体の成長する姿や感性に日々驚かされながら3年が経ちました。子ども達の笑顔に大きな喜びを感じ、子ども達をとおしてのいくつもの出会いに感謝する毎日です。

保育士:いちご(0歳児)担当

三年前、園の真新しい部屋と一緒にやってきた子ども達が見違えるほど成長していることに、月日の流れがもたらす影響の大きさを感ぜずにはられません。これからやってくる子ども達とも、共に歩んでいけますように。

保育士:さくら(5歳児)担当

3年を振り  
返って

子どもたちと過ごす日々は様々な発見の毎日でその発見や発想力に驚かされるばかりです。これからも子どもたちと一緒に様々な気づきや発見を感じながら自分自身も成長していけたらと思います。

保育士:ぶどう(2歳児)担当

# 軽費老人ホームとあじさいの家のフェンスが新しくなりました

2019年度神奈川県地域介護・福祉空間整備等施設整備事業により補助金を受け、軽費老人ホームのブロック塀を撤去し、基礎工事を行い新しい品のある黒の格子のフェンスを取り付け、玄関入口に車椅子のスロープを設置しました。2020年には季節の花木の植栽をし、今年は早春に紅梅、春にオオシマザクラ、夏にサルスベリの花が咲きました。

軽費フェンス



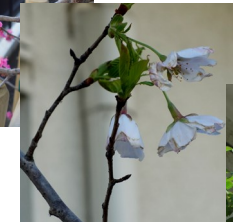
軽費玄関前



軽費老人ホーム  
鎌倉静養館

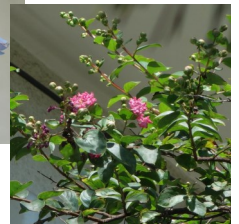


紅梅

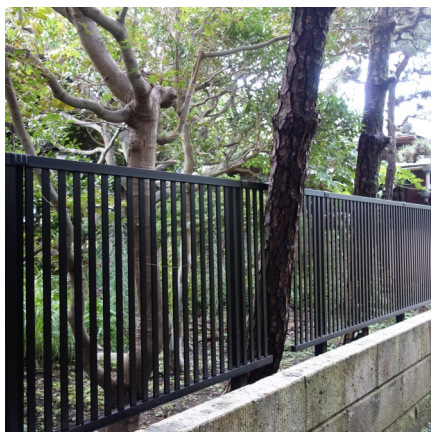


オオシマザクラ

サルスベリ

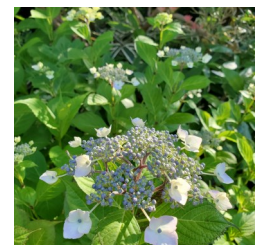
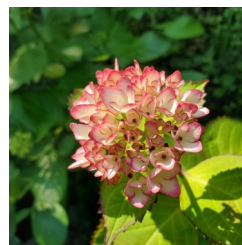


あじさいの家フェンス



2021年、フェンスの全面的改修が終了しました。少しずつ増やしてきたあじさいもたくさんの花をつけお庭を彩っています。

材木座あじさいの家  
(小規模多機能居宅介護事業)



2021年6月に、新たに社会福祉法人評議員、理事が選任され、理事長に西崎猛之が就任いたしました。

評議員（任期4年）

- 阿部 誠（新任）
- 岩澤 勝昭（再任）
- 小宮山 剛（再任）
- 齋藤 哲夫（新任）
- 島田 利修（再任）
- 原 尚正（再任）
- 兵藤 芳朗（再任）

理事（全員再任/任期2年）

- 西崎 猛之（理事長）
- 小針 宏（鎌倉おなり保育園園長）
- 小見山浩美（軽費老人ホーム・ボランティア・後援会担当）
- 田中 英雄（介護保険事業・経営会議担当）
- 塚越 敏夫（法務担当）
- 長野 邦子（軽費老人ホーム・ボランティア担当）

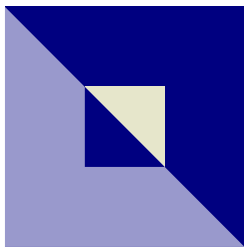
監事（任期2年）

- 上野 貢一（再任）
- 脊山 静子（再任）



★★★編集後記★★★ 長らくお待たせいたしました。まだまだコロナ禍にあり、ミッションの活動が制限を強いられています。希望をもって、勇気をもって進みたいと思います。（TN記）





# 2020年度(令和2年)寄付金

(2020年4月～2021年3月)

—深い感謝をもってご報告いたします—

日頃から社会福祉法人鎌倉静養館の運営にご理解、ご協力をいただき深く感謝いたします。

2020年度(令和2年)は皆様から、総額4,071,036円のご寄付、介護用電動ベッド15台の寄贈を賜りました。ご支援、ご協力を賜りました皆様に厚く御礼申し上げます。

## 社会福祉法人鎌倉静養館

匿名個人 様(1名)

計 100,000円

## 軽費老人ホーム鎌倉静養館

日本基督教団 鎌倉雪ノ下教会 様

三溪堂表具店 様

青山学院横浜英和中学高等学校 様

工藤 百合子 様

丸山 尚靖 様

新納 嶺 様

湯川 脇雄 様

佐藤 美千子 様

小松原 ヨシ 様

計 2,831,036円

## 材木座あじさいの家

匿名個人 様(1名)

計 10,000円

## 特養鎌倉静養館

日本基督教団 鎌倉雪ノ下教会 様

関東学院六浦小学校 様

(有)角喜葬儀社 様

青山学院横浜英和中学高等学校 様

ハリス記念鎌倉幼稚園 様

村瀬 敬子 様

匿名個人 様(6名)

計 560,000円

医療法人社団 考誠佑覚会

藤沢善行ファミリークリニック

介護用電動ベッド 15台 寄贈

## 鎌倉静養館後援会

日本基督教団 鎌倉雪ノ下教会 様

日本基督教団 鎌倉教会 様

日本基督教団 藤沢北教会 様

日本基督教団 茅ヶ崎教会 様

日本基督教団 鎌倉泉水教会 様

日本基督教団 藤沢北教会婦人会様

日本基督教団 鎌倉恩寵教会 様

日本基督教団 大船教会 様

日本基督教団 逗子教会 様

日本基督教団 横浜指路教会 様

日本基督教団 横浜大岡教会 様

岡野 和子 様

飯塚 俊輔 様

飯塚 美喜恵 様

原 厚子 様

鈴木 紀久江 様

青山 静子 様

高山 カズ子 様

小松原 ヨシ 様

上木 正暁 様

牛尾 正幸・志保 様

梅田 美千代 様

江川 朝子 様

大森 おほみ 様

小田切 真理 様

川口 泰昌 様

小見山 浩美 様

清水 正弘 様

新澤 佳詠子 様

神保 洋子 様

高岸 典子 様

田村 雅子 様

藤田 達雄 様

本城 勇介・ゆりえ 様

棟居 洋・美智子 様

村上 公子 様

吉永 多恵子 様

吉成 みち子 様

丸山 千壽 様

匿名個人 様(2名)

計 570,000円

寄付金合計

4,071,036円

本寄付は所得税法  
78条の寄付金控除  
の対象となります。